



大阪市立佃中学校

2年生学年通信

5月20日(水)発行 No.5

## 「いじめ・いのちについて考える日」がありました

普段の日常の中で「冗談のつもり」「軽い気持ち」でやっている「イジリ」が、誰かを傷つけるような行動になっていないか。みんなも真剣に考えてくれたことが、その日に取り組んだワークシートを読んで伝わってきました。

やっている側は単なる「イジリ」のつもりでも、された側が嫌な気持ちになったり、傷ついたりしてしまうようでは、もはや「イジリ」ではありません。相手の立場に立って考える優しさについて、今一度考えてくれたと思います。

## もう一つ、大切なこと

それは、そのときの「まわりの雰囲気」です。

誰かが嫌な思いをしているとき、それに気づいている人もいるはず。

心の中で「それはあかんやろ」「やりすぎちゃうかな」と思っている人もいるはず。

そんなとき、誰も注意をせず「冗談のつもり」という軽い雰囲気のまま、いけない行為がそのままスルーされてしまう。「自分には関係ないから」と、それについて「誰も言わない、言えない雰囲気」は、とても心配です。

## ほんとうの本当の「ええやん!」な集団とは

学年の雰囲気を決めるのは、皆さん自身です。

ほんとうの「ええやん!」な学年とは、仲良しなだけの学年ではない。

「それはあかんやろ」と感じたときに、勇気をもって「やめとき」と言える優しさと強さを持った学年です。

いけないことを「許さない」という気持ちで行動を表す、困っている人に「大丈夫?」と声をかける、そんな人たちが増えれば、学年の空気はさらに大きく変わります。誰もが安心して過ごせる、本当の意味で居心地の良い場所になります。そんな場所だからこそ、それぞれの「ええやん!」なところが、より輝くのではないでしょうか。

あなたのポジティブな一歩が、最高の「ええやん!」です。みんなで支え合って、誰もが心から笑顔になれる、最強に温かい学年を一緒につくっていきましょう。

## ●5月の2年生委員長会

職業体験に行くことや、日常の学年の様子なども考えながら、時間をかけて話し合い、この目標に決まりました。

委員長の人たちからは「クラス・学年が、より『ええやん!』があふれるようになってほしい」という思いを感じます。こういった思いのある人たちが、一生懸命がんばれる学年を、みんなでつくっていただきたいと思います。

2学年 笑顔Yarn!

### ・5、6月の学年目標

- ・れいぎ正しく「ええやん!」と思われる行動をしよう
- ・みんなが「ええやん!」も注意も言える環境をつくろう

学級委員長会

## ☆がんばれ2年生! 定期テストにむけて、大切な5つのポイント!

### ●鉛筆・シャーペン・消しゴムは多めに準備する。

テスト中、急にシャーペンが壊れたり、鉛筆の芯が折れたりするかも…。テスト中に借りることはできないので、あらかじめ多めに準備しておきましょう。

### ●当日は、テストのある教科の勉強できるものを持ってくる。

テスト直前も勉強するためです。例えば、直前に見た漢字がテストに出るかもしれません。1点でも多くとろう!

### ●テストファイルを持ってくる。

テストが終わったら、問題用紙はテストファイルにとじて大切に保管しましょう。保管したテスト問題は、復習をするときにとても役立つので、無くさないように。(3年生になって受験勉強をする際、今までのテストがあると、苦手な所を把握しやすいです)

### ●提出物は必ず出す!

テストの点数とは別に、提出物も評価に入ります。きちんとやれば全員がとれるのが提出物点です。まだ終わっていない人は今からでも遅くないので、提出物を仕上げましょう。

### ●テスト中は、最後まであきらめない!

テスト中、時間を有効活用しましょう。問題はできるところから取り組みましょう。わからない問題は、あとでゆっくり考えるのも作戦です。「時間がなくて、最後の問題まで見れなかった」というのが1番もったいないです。また、すべての問題を解き終わったら何度も見直しをしましょう。「きっとどこか間違っているはず」くらいの意識で見直すと良いです。

※問題を解き終わったからと言って寝る人がいますが、これは絶対ダメ。テストも授業と同じです。寝ている場合ではない。見直しをする!